

# 運輸安全マネジメントに関する取組みについて

三交伊勢志摩交通株式会社

## I. 輸送の安全に関する方針

### ○ 社長方針

- ・「無事故は使命」
- ・「思いやりとプロの自覚」

### ○ 取組み事項

1. 事業活動においては、お客様の安全確保を第一に考えます。
2. 安全確保のため、日ごろから危険要因の排除に努め、安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（PDCA）を確実に実施します。
3. 安全に関する教育、研修、訓練等を積極的に実施します。
4. 常に安全意識を高く持ち、社会の変化に対応した体制を構築し、法令遵守を徹底します。
5. 事故、災害が発生した場合には、お客様の救護を最優先に行うとともに関係機関との連携を密にし、被害の拡大防止と早期復旧を図り、輸送の安全に関する情報については積極的に公表いたします。
6. 管理の受委託において、委託者及び受託者は相互に協力、連携して輸送の安全の向上に努めます。

## II. 平成 31 年度(令和元年度)の取組みについて(平成 31 年 4 月～令和2年 3 月)

### 1. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

(1)有責事故総件数 …… 0件

合計:0件 (有責事故:0件、無責事故:0件)

前年度事故件数:1件(有責事故:1件、無責事故:0件)

目標 有責事故 0件

結果 有責事故 0件

(2)三事故 …… 0件(前期比±0件)

※三事故とは「追突事故、発車反動事故、扉事故」で自らの注意で防ぐことのできる事故。

(3)高速道路での事故、転落事故、積雪凍結路でのスリップ事故 …… 0件(前期比±0件)

## 2. 輸送の安全に関して取り組んだ事項

### (1) 情報の共有及び報告・伝達のための会議体

会議体	内容	開催回数
所長会議 (三重交通㈱主催)	・各営業所からの報告(輸送の安全に対する取組み及び課題)	年4回
事故防止対策委員会 (社内及びグループ運輸会社管理者で構成) (三重交通㈱主催)	・事故防止と接客向上に向け基本方針と通年重点施策の策定 ・安全輸送とサービス向上運動に向けた基本方針と実施計画策定 ・事故の原因分析及び再発防止策の検討と周知	年4回 // //
	・前年度の総括と緊急時または必要のある場合の臨時開催	年1回 (R01年度)
所長・区長・事業所長会議(三重交通㈱主催)	・緊急時または重大事案発生等、必要のある場合に臨時開催 (再発防止策の指示等)	年1回 (R01年度)
区長・事業所長会議 (統括運行管理者) (三重交通㈱主催)	・事故防止対策委員会での決定事項の周知とDR映像を活用した事故分析を行い、各営業所運行管理者への取組みの周知	年4回
	・前年度の統括を含め緊急時または重大事案発生時、必要のある場合に臨時開催(再発防止策の指示等)	5回 (R01年度)
整備担当者会議 (三重交通㈱主催)	・法改正と故障事例による整備基準の見直しと路上故障皆無に向けた情報共有を行い、現場整備士への周知	4回 (R01年度)
乗務員講習会	・「安全輸送とサービス向上運動」に向けた具体的な取組みの周知 ・緊急時、重大事故発生等、再発防止に向けた取組みの周知	年4回 適時

### (2) 「安全輸送とサービス向上運動」の実施(年間124日間実施)

事故防止と接客向上を目指して、年4回「安全輸送とサービス向上運動」を実施しました。

運動名	期間	日数
春の安全輸送とサービス向上運動	4月20日～5月20日	31日間
夏の安全輸送とサービス向上運動	7月21日～8月20日	31日間
秋の安全輸送とサービス向上運動	10月6日～11月5日	31日間
年末年始の安全輸送とサービス向上運動	12月21日～1月20日	31日間

### (3) 会社トップによる職場巡視の実施

三重交通㈱社長による職場巡視	年末年始の運動(12月)の際、全営業所巡視を実施しました。
三重交通㈱副社長による職場巡視	春の運動(4月)の際、全営業所巡視を実施しました。
三重交通㈱安全統括管理者による職場巡視	社長及び副社長巡視時に同行するほか、夏の運動及び秋の運動の際、全営業所への巡視とともに、安全統括管理者単独での営業所巡視を実施しました。

### (4) 営業所長、区長、及び運行管理者による早朝立合いの実施

年4回の「安全輸送とサービス向上運動」の初日と最終日に、営業所早朝立合いを実施し、始業点呼にて適切な指示がされているか確認を行うとともに、必要に応じて助言と指導を実施しました。

### (5) 法令遵守に向けた取り組み

運転記録証明書を取得	社員全員の運転記録証明書を取得し、交通事故及び違反の有無の確認を行い、交通事業従事者としての安全意識の向上を図りました。
飲酒運転及び運転免許証有効期限切れと不携帯の防止	始業、中間及び終業点呼時におけるアルコール検知及び運転免許証有効期限切れと不携帯を運転免許証ICチップを活用した連動型確認システムによる確認と合わせて点呼執行者(運行管理者)の目視確認とともに運転士に高性能携帯用アルコール検知器を運転士に貸与し、出社前に活用することで意識の向上を図りました。
違法薬物使用の防止	計画に基づき実施しました。

### (6) 運転士に対する運転適性診断の実施

種類	一般診断	初任診断	適齢診断	特定Ⅰ・Ⅱ	受診者数 合計
対象	3年に一度受診	新たな雇用者	高齢運転者(65歳以上)	事故惹起者等	
人数	53名	9名	10名	1名	73名

### (7) 危機管理ならびにリスク管理の取り組み

緊急時対応マニュアルの周知	年4回の乗務員講習会において、社内で作成済みの緊急時対応マニュアル(テロ・バスジャック対応マニュアル、大規模地震発生時、バス運行時の緊急対応マニュアル等)を周知しました。
テロ対策巡回等の実施	日常、各営業所において、車庫内及びターミナル施設等の巡回、立合い等を行っていますが、大型連休、夏休み、年末年始等繁忙期の人出が多い時期には警戒体制を強化しました。
救急救命訓練の実施	消防等関係機関の指導によるAED等を使用した、救急救命及び緊急時対応訓練を各営業所で実施しました。
火災発生時の対応訓練の実施	車両火災等発生時における、消火訓練及び非常時における車両からの緊急脱出訓練等を各営業所で実施しました。
新型コロナウイルス感染症対策の周知	新型コロナウイルス対応マニュアルを作成し、感染防止対策を周知するとともに、バス車内の外気導入並びに窓開けによる換気、車両の消毒、運転席飛沫感染防止シートなどを装着することで感染予防に取り組みました。

### (8) 健康管理等の対策

項目	実施状況
定期健康診断(法定)	全運転士が定期健康診断を受診し、診断結果の把握をするとともに、必要に応じて再検査等の受診指導を行いました。
脳ドック	高齢運転者(60歳以上)4名が受診し脳疾患のないことを確認しました。
睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査	新たに運転士登用した者に対して、スクリーニング検査を実施し、検査結果をもとに再検査等の受診指導を行い、乗務できることを確認しました。
保健師による個別健康相談指導	保健師による健康指導(個別)を実施しました。(年2回実施)
健康調査票の活用	乗務員自らが健康調査項目に基づき各自記入し、営業所管理者が健康状態を把握し、日常の健康管理に活用しました。(年4回)
日常の健康管理(新型コロナウイルス対策を含む)	運行管理者が乗務員に対して、日々の点呼において健康状態の聞き取りと仕業前及び終業時に検温を行い発熱のないことを確認するとともに、全社員に対しては、出社前の検温、咳エチケット、マスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒を実施しております。
ストレスチェックの実施	全社員に実施しました。

## 3. 安全教育及び研修の実施

### (1) 運行管理者教育の実施

#### ① 社内研修の受講

研修名	対象	内容等
統括運行管理者研修	区長	・外部講師による安全管理について社内教育を実施しました。 ・重大事故の風化防止と安全意識向上への取り組みを目的として、JAL安全啓発センターへの視察研修を行い、安全意識の向上に向けた教育を実施しました。
運行管理者研修	運行主任	運行管理についての社内教育及び外部講師によるコンプライアンス向上の研修を実施しました。

#### ② 社外研修の受講

研修名	主催
運行管理者一般講習	独立行政法人自動車事故対策機構
自動車事故防止セミナー2019	国土交通省中部運輸局
運輸安全マネジメントセミナー	国土交通省中部運輸局

## (2)乗務員教育の実施

### ①社内及び社外機関による教育・研修の実施

研修等の名称	対象者	内容
シニア運転士教習 (再雇用運転士)	シニア運転士	・適性検査及び面談と運転技量確認の実技教習を実施
主事運転士研修	主事運転士	・座学及び実技教習を実施 ・運転士のリーダーとしての自覚
事故・苦情惹起者 再教習	該当運転士	・事案に応じて、実技等の再教育を実施 ・面談及び適性診断の実施
社外研修機関 による研修	営業所推薦運転士	・自動車安全運転センター安全運転中央研修所
新規採用運転士 養成研修	新規採用者 社内登用者	・自社研修所にて座学、実技教習等を実施 ・配属後 10 日以上路線見習い及び営業運転教育
運転経験 1 年未満 運転士フォロー アップ研修	運転経験 1 年未満の 運転士	・座学及び実技、面談を実施 ・運転技量の確認 ・事故事案及びヒヤリハット事例の原因分析と防止策
貸切運転士研修	貸切バス運転士	・座学及び実技教習を実施 ・貸切バス運転士としての自覚

### ②安全運転研修車(三重交通株所有)による研修の実施

新人運転士の初期研修及び経験1年未満運転士フォローアップ研修において、運転技能向上を目的に三重交通株所有の安全運転研修車を活用し、事故防止と省エネ運転の実践に取り組んでいます。

### ③新人運転士研修用映像(DVD)を活用した研修の実施

配属前の新人運転士に対して、路線の特性並びに危険箇所などの把握を目的として、新人運転士が現場配属時、円滑に勤務が遂行できるよう新人運転士研修用映像(DVD)を活用しています。

### ④三重交通株専任添乗指導員による添乗指導の実施

営業運転中の運転士に対して、運行管理者経験を有する三重交通株専任添乗指導員が添乗を行い、現場での指導並びにその評価を営業所管理者に伝え、事故防止と接客向上を図っています。

## 4. 「安全輸送とサービス向上運動」実施後の評価と改善

年4回の運動期間終了後に取り組み結果を検証し、次回の運動に向けた改善を図っています。

## 5. 内部監査及び運行管理業務監査の実施

### (1)内部監査の実施

適正な運行管理業務を図るため、三重交通株監査部及び三重交通株運転保安部担当者が、輸送の安全に対する取り組み状況について運行管理業務監査を実施し、運行管理業務が適切に行われているかを確認しました。

### (2)運行業務点検の実施

旅客自動車運送事業運輸規則第 48 条(運行管理者の業務等)に基づいた運行業務が適切に実施されているかを検証するため、三重交通株運転保安部による業務点検を年3回実施し、助言とともに業務の改善を図りました。

## 6. 輸送の安全に関する投資実績(平成31年4月～令和2年3月)

### 安全に関する投資

・通信型ドライブレコーダーへの代替	800 千円
・運転記録証明書の取得	250 千円
・健康管理対策(脳ドック受診)	400 千円

## 7. 安全管理規定の変更の有無

変更なし

### Ⅲ 令和2年度の取組みについて(令和2年4月～令和3年3月)

令和元年度の取組んだ内容を総括・分析した結果、本年度も安全性の向上を目指し継続して取組んでいきます。

#### 1. 輸送の安全に関する方針

##### ○ 社長方針

- ・「無事故は使命」
- ・「思いやりとプロの自覚」

※前年度の方針を継承し、輸送の安全確保に引き続き努めていきます。

#### 2. 輸送の安全に関する目標

- (1)重大事故の絶無 …………… 高速道路での事故、転落事故、積雪凍結路での事故等、社会的影響を及ぼす事故の絶無
- (2)有責事故ゼロ …………… 三事故(追突事故・発車時の事故・扉事故)を含む、当社責任事故の絶無
- (3)当社責任による苦情の絶無
- (4)具体的な数値目標 …… 有責事故発生件数 0件 を目指す

#### 3. 輸送の安全に関する重点施策

- (1)安全確保に向けた運行管理体制の充実
- (2)運行管理者の育成と運転士教育の強化
- (3)事事故案の詳細な分析とそれに基づいた再発防止策の共有と伝達の強化
- (4)法令遵守に向けた取組みの強化
- (5)接遇向上への取組みの強化
- (6)健康起因による事故防止に向けた取組みの強化
- (7)運輸安全マネジメント制度への取組みと更なる充実を図る
- (8)新型コロナウイルス感染防止に対する取組みを周知する

#### 4. 輸送の安全に関する取組み(P:計画)

- (1)年4回の安全輸送とサービス向上運動の実施(7月、9月、12月、3月)
  - ①春の安全輸送とサービス向上運動 …… 令和2年 4月20日～令和2年 5月20日
  - ②夏の安全輸送とサービス向上運動 …… 令和2年 7月21日～令和2年 8月20日
  - ③秋の安全輸送とサービス向上運動 …… 令和2年10月 6日～令和2年11月 5日
  - ④年末年始の安全輸送とサービス向上運動 …… 令和2年12月21日～令和3年 1月20日
- (2)輸送の安全に関する教育及び研修
  - ①運行管理者に対する教育及び研修の実施(三重交通グループ合同)
    - ・運行管理者の社内研修実施(統括運行管理者、運行管理者、初任運行管理者及び運行補助者)
    - ・独立行政法人自動車事故対策機構による運行管理者一般講習及び基礎講習の受講
    - ・社外研修機関及び外部講師による統括運行管理者研修の実施
  - ②乗務員に対する教育及び研修の実施(三重交通グループ合同)

- ・運転士登用研修の実施
  - ア.新規採用及び社内登用運転士の初期教育の実施
- ・階層別研修の実施
  - ア.運転経験1年未満者のフォローアップ研修の実施
  - イ.主事運転士研修の実施
- ・運転士キャリアアップ研修の実施
  - ア.高速路線バス乗務資格研修(長距離高速線乗務資格)
  - イ.大型貸切バス乗務資格研修
  - ウ.その他必要に応じた実技研修(高齢運転士等)
- ・事故、苦情等惹起者の再教育
- ・疾病及びその他の理由による連続15日以上非乗務者の補習教習
- ・社外研修機関を利用した研修
- ・運転士登用及び再雇用時の運転適性検査の実施
- ・専任添乗指導員による添乗指導の実施
- ・ヒヤリハット情報の有効活用
- ・独立行政法人自動車事故対策機構による運転適性診断の実施(一般・適齢・特定・初任診断)
- ③高齢運転士に対する安全対策
  - ・年齢60歳以上を対象とした脳ドック受診の実施
- ④睡眠時無呼吸症候群(SAS)の対策
  - ・新規採用者を含む全乗務員に対してスクリーニング検査の実施(3年毎)
  - ・スクリーニング検査に基づく受診指導ならびに治療中の運転士に対して治療継続の確認と指導の実施
- ⑤危機管理並びにリスク管理体制の強化
  - ・事業継続計画(BCP)の活用
  - ・テロ・バスジャック等の各種緊急対応マニュアルの継続的な見直しと周知
  - ・実効性を確認するための各種緊急時訓練の実施
- ⑥運輸安全マネジメント研修の受講
  - ・安全意識の向上のため、国土交通省及び自動車事故対策機構が主催する運輸安全マネジメントの研修に  
管理部門も含めて積極的に参加します。
- (3)輸送の安全に関する投資予算
 

①教育指導	運行管理者、乗務員の各種研修への参加及び教習	600千円
②健康管理	SAS検査、脳ドック検査等	600千円
③法令遵守	運転記録証明書の取得等	150千円
④その他	特殊車両(連節バス)に係る教習他	250千円
合 計		1,600千円

## 5. 輸送の安全に関する取り組み事項(D:実行)

- (1)事故防止対策委員会(三重交通㈱主催およびバス協会主催)への参加
- (2)区長・事業所長会議(三重交通㈱主催)への参加
- (3)乗務員講習会の実施
 

年4回の「安全輸送とサービス向上運動」にあわせて、全乗務員を対象に事故防止と接客向上に向けた講習会を実施するとともに、早急に取り組むべき事案に対しては、緊急の乗務員講習会を実施します。
- (4)経営トップによる職場巡視の実施
 

経営トップおよび安全統括管理者による職場巡視を行い、取り組み状況の確認と課題を把握するとともに安全意識の醸成のため、現場管理者との意見交換と乗務員代表者による懇談会を行い、意思の疎通と安全意識の向上を図ります。
- (5)早朝立合の実施
 

年4回の「安全輸送とサービス向上運動」の初日と最終日に、三重交通㈱運転保安部担当者と営業所早朝立合を実施し、始業点呼にて適切な指示がされているかを確認するとともに、必要に応じて指導を実施します。
- (6)運行管理の徹底
  - ①運行管理者による厳正な点呼の執行
  - ②乗務基準に基づいた適正な運行計画の実施

- ③乗務員の運転技量の把握と向上に向けた指導
- ④乗務員の健康状態の把握と指導
- ⑤ドライブレコーダー及びデジタルタコグラフの有効活用

(7)整備管理の徹底

- ①整備基準の遵守と実行
- ②予防整備の実施による類似故障発生の防止に向けた指導
- ③作業環境の改善による作業効率の向上
- ④作業安全確保による労働災害の絶無に向けた指導

(8)法令遵守の徹底

- ① 管理部門ならびに現業部門社員の運転記録証明書を取得し、交通事故・違反の有無及び運転免許証の有効期限切れの確認を行い、交通事業従事者としての安全意識の向上を図ります。
- ② 始業点呼時の点呼執行者(運行管理者)による目視確認とともにアルコール検知器連動型免許証確認システムを確実に活用し、飲酒運転並びに免許証有効期限切れ、免許証不携帯の防止に取り組みます。
- ③ 社員の違法薬物の所持・使用の抑止を図ることを目的として、違法薬物検査を継続します。

6. 取り組み確認(C:チェック)

- (1)内部監査の実施 …… 令和2年10月予定
- (2)業務監査の実施 …… 令和3年2月予定
- (3)運行業務点検の実施 …… 令和2年6月、9月、12月予定

7. 輸送の安全確保に向けた取り組み(A:改善)

各運動終了後に取り組み内容の分析を行い、改善と反省点等を次回の運動に反映させるとともに、年度の総括を行い、次年度の取り組みに反映します。

8. 安全統括管理者及び安全管理規程

安全統括管理者 …… 常務取締役 三村 和也

安全管理規程 …… 令和2年 1月に改正

9. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

輸送の安全に関する指示・系統図及び  
事故・事件・災害発生時の報告系統図 …… 別添資料

以 上